

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 本県主力輸出商品であるブリ、マダイの生産量は全国的に近年減少傾向。
- 人口減少、少子高齢化、魚離れなどにより水産物の国内需要は減少傾向
- 愛媛県の輸出は増加傾向（R2はコロナでダウン）

（背景）輸送技術の進展、食品流通の国際化、都市人口の増加、スーパー等での購入増、新興国等での食生活の変化、健康志向の高まり等

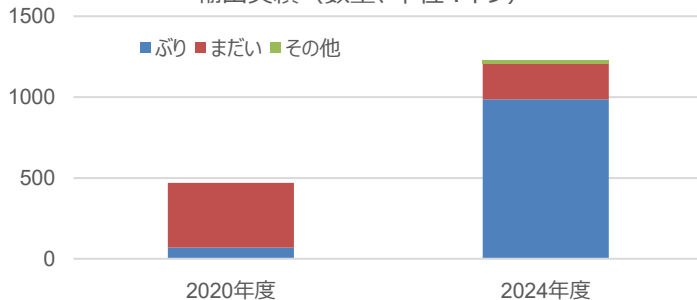
（追い風）日本食ブーム、補助事業充実、国輸出戦略等

（実態）北米向けブリ伸長、韓国向け活魚伸長

【課題】

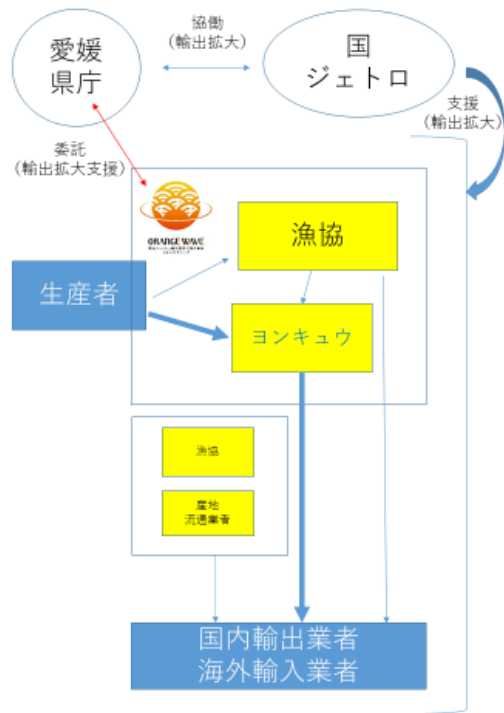
- 輸出 へさらなる輸出拡大に向けて～
 - ・HACCP施設の維持拡大
 - ・輸出障壁（放射性物質検査等）の撤廃
 - ・体制整備（FSMA対応、Green list取得等）
 - ・アイテム確保（漁業認証、戦略魚種）
 - ・認知度向上（愛育フィッシュ、EHIME JAPAN）
 - ・ビハインド（価格等）
 - ・マーケットニーズの把握

輸出実績（数量、単位：トン）

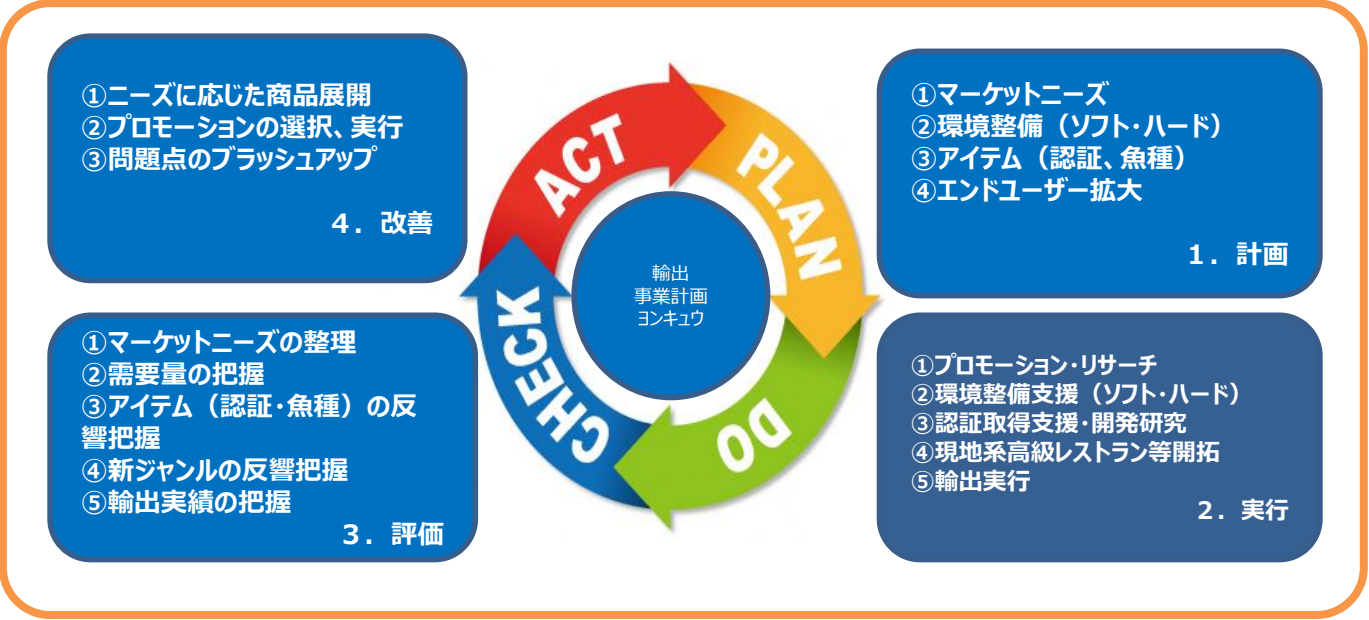


2. 輸出事業計画の取組内容

項目	対応策
HACCP輸出	<ul style="list-style-type: none"> ・HACCP施設整備、改修 ・輸出拡大に必要な機器の整備等
輸出障壁	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出証明書の迅速な申請体制の整備
体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・HACCPプラン実行、FSMA対応 ・グリーンリスト取得
漁業認証	<ul style="list-style-type: none"> ・認証取得及び維持 ・現地ニーズの把握
戦略商品	<ul style="list-style-type: none"> ・愛育フィッシュ（ブリ、マダイ）
認知度	<ul style="list-style-type: none"> ・県プロモーション活動への参加 ・国（ジェトロ）と一体となったプロモーション活動への参加
ビハインド	<ul style="list-style-type: none"> ・多量多品種の強みを生かした輸出 ・共同集荷輸送の検討
マーケットニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・展示会等への参加 ・海外バイヤーやシェフ等の招聘等



3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標

愛媛県産ぶり	現状（令和2年度）	目標（令和10年度）	増減
輸出量	72,000kg	1,260,000kg	+1,188,000kg
輸出先国	米国	米国・EU	-

愛媛県産まだい	現状（令和2年度）	目標（令和10年度）	増減
輸出量	400,000kg	500,000kg	+100,000kg
輸出先国	韓国	韓国・米国	米国等

愛媛県産その他	現状（令和2年度）	目標（令和10年度）	増減
輸出量	-	若干	若干
輸出先国	-	米国・韓国	米国等